国際医療リスクマネージメント学会

チーム医療安全研修会・2020

（第6回）

One team, One hospital

主催者の挨拶

「One Team」は世界の新たな標語になりつつある。その理由は、チームの円滑化がよってチーム力が一層活動水準を高めることにある。

今日の医療は多職種連携で行われ、患者中心とするチーム医療が行われている。チーム医療によって、高い効果をもつ医療が実現できる。しかし他方では、チーム内の様々な連携ミスが甚大な医療事故を引き起こしている。そのために、日本国内において 2015 年からチーム医療の円滑化の実現を目指す本研修会を実施しています。

過去 30 年以上にわたって日本航空業界では航空機墜落事故が発生せず、日本の航行業界は世界一安全な実績があります。その理由は、クルー・リソース・マネージメント(CRM)という One Team 活動による安全推進が実施されていることによります。そこで、この過程において長年ご活躍されてきた石橋明先生(日本医療安全学会特別会員)に医療版 CRM の開発をお願いしていました。この度、世界初の本実習を企画・運営をお届けするに至りました。

なお、医療安全文化の更なる向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全推進者が不可欠です。そこで、2015 年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定の「高度医療安全推進者」資格制度、「高度医薬品安全推進者」資格制度ならびに学会認定の「高度看護安全推進者」資格制度を開始しました。本プログラムはこの 3 種類の認定資格取得における必須科目でもあります。

本研修会により、あなたの医療機関におけるOne Teamによる安全文化の推進が実現ができます。

2020年2月

酒井 亮二　（国際医療リスクマネージメント学会理事長、日本医療安全学会理事長）